

がっこう 学校だより

よこはましりついできた しょうがっこう
横浜市立飯田北いちよう小学校
へいせい ねん なつやす ごと
平成26年 夏休み号
がっ か はっこう
7月24日発行

なつやす せいちよう 夏休みは成長のチャンス

子どもたちにとっては、待ちに待った夏休みがやって来ます。楽しい計画をたてているご家庭も多いのではないのでしょうか。夏休みが始まる前に、夏休みの目標と計画をしっかりと立て、実りある夏休みにしましょう。



夏休みは約1月間という限られた期間です。「具体的な目標を決めて取り組む」のに最適です。例えば、「この本を読んでみよう」「25m泳げるようになろう」「観察日記をつけてみよう」「コンクールの作品を作ってみよう」など、夏休みの終わりまでにできるように頑張ろうとする気持ちを大切にすることで、意欲をもって取り組み易くなります。また、「毎日、お手伝いをしよう」のように、家族の一員としての役割を任せることで、責任感を育むことにもなります。

ただ、夏休みの計画を立てるとき「無理をしない」ことも大切です。教育熱心なご家庭ほど、期待のあまり、少し多くの内容で計画を作りがちですが、計画倒れに終わる心配もあります。無理のない量や内容で取り組むことで、成就感や達成感を味わうことができるようにしましょう。

生活時間については、学校があるときと同じように過ごすことも大切です。子どもの生活リズムを崩さないためにも、『早寝・早起き・朝ごはん』の運動にもあるように、起床・就寝、食事などの生活の基本となる時間は、同じになるように心がけ、午前中は必ず勉強の時間にあてましょう。

毎日の勉強は決まった時刻に始めることが大切です。勉強開始時刻になっても、なかなか始められずに10分くらい過ぎてしまうということがよくあります。その日のやることを決めておいて、直ぐに始められるように予め準備しておくことも大切です。

とは言っても、ずっと目標に向かって頑張っていると疲れてしまいます。中学受験を目前に控えた人なら別ですが、子どもたちは夏休みを利用して様々な経験することも大切です。子どもにとって、知ることや体験することによって世界が広がることは、非常に楽しい経験です。その好奇心が「学び」につながります。クイズ番組等で優秀な高校生が出演していることがあります。その人たちの子どもの頃の話に「本が好きだった」「電車に興味があった」「虫に関心があった」等で、図書館や博物館に行ったり、実際に昆虫採集をして観察したりした経験があったようです。子どもの頃の興味や関心を大切にしたい学び、知的な好奇心を刺激する取り組みなどが子どもたちを大きく成長させたと考えられます。その意味では、夏休みはチャンスだと思います。

こうか こうしょうさくせい わ と く
校歌・校章作成に向けた取り組み

じどう きょうしよくいん こうせい こうか こうしょうさくせい と く はじ
児童・教職員で構成する校歌・校章作成プロジェクトの取り組みが始まります。